

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県秦野警察署協議会
日時	令和5年5月11日（木）午後3時から午後4時50分までの間
場所	神奈川県秦野警察署
出席者	<p>警察署協議会側</p> <p>会長 柳川豊 副会長 栗原和子</p> <p>委員 大澤玲子、小泉裕子、和田稔、高橋克実、和田利一、鈴木雅人、桑原由紀子</p> <p style="text-align: right;">計9人</p> <p>警察署側</p> <p>署長 加藤圭司、副署長 須藤智克、調査官 来城治</p> <p>留置管理課長 宮崎洋一、会計課長 加藤紀子、生活安全課長 久保武次</p> <p>刑事課長 佐藤朗、交通課長 深澤祐多、警備課長 峯尾直矢</p> <p style="text-align: right;">計9人</p>
議事要旨	<p style="text-align: center;">警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明</p> <p>1 「交番の統合による地域警察力の確保方策～南矢名交番と東海大学駅前交番の統合活動」 （前回の答申）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の会合に出席してアクティブ交番をアピールする。 ・イベント開催場所等にアクティブ交番を配置して周知させる。 ・JAなど高齢者が多く訪れる場所等へアクティブ交番を配置してはどうか。 <p>（措置結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年1月15日に東海大学駅前交番連絡協議会を開催し、地域課長が出席して、交番勤務員が不在であっても、交番施設内設置の電話から警察署に接続可能であること、アクティブ交番の開設状況を説明。 ・防犯キャンペーン、交通キャンペーン等のイベントに積極的にアクティブ交番を運用していく。 ・アクティブ交番の運用及び各種情報発信をTwitter等のSNSを活用し発信していく。 <p>2 「高齢者保護対策（保護・安否確認事案）」 （前回の答申）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路工事現場の警備員に協力を求め、夜間一人で歩いている高齢者を目撃した際の通報について依頼をしてはどうか。 ・市と協力GPS発信機等の普及促進をする。 <p>（措置結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事現場の警備員に通報してもらった件については、交通整理・誘導の安全確保の妨げになることから、引続き防災無線の活用を行い発見に努める。 ・1月から3月に生活安全課課員が、高齢者施設を訪問して、施設職員及び同席の市職員、ケアマネージャー等に講話を行い、不明時の早期通報とGPSの活用等について指導した。 ・令和5年1月15日東海大学駅前交番連絡協議会を開催し、生活安全課長が出席してGPSの取り付けと市役所への相談等について説明を行った。 <p>3 「管内の治安情報発信の在り方について～特殊詐欺対策に対する広報啓発活動の取組」 （前回の答申）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察本部に特殊詐欺に関する情報発信のチラシやグッズ等の予算請求をして市民に配布す

る。

・予算を抑えるため、郵便区内特別郵便を利用して複数の市民に一斉にチラシ等配布してはどうか。

・携帯電話会社に協力を求め、詐欺グループが使う電話等（飛ばしの電話）の対策をしてはどうか。

（措置結果）

・チラシやグッズ、郵便区内特別郵便は予算措置が必要であるため、県警の予算編成の際、要望意見として上申する。

・本年2月に秦野市農業協同組合に対し、特殊詐欺被害の防止を呼び掛けるチラシを、組合機関紙「JAはだの」に、折り込み配布をそれぞれ依頼し実施した。

・携帯電話会社への捜査協力の依頼はすでに行っている。

諮問

「自転車利用者の乗車用ヘルメット着用に対する啓発活動について」

答申

- ・ 自転車販売店との協力（ポスターや購入時の説明）
- ・ 市と連携して助成金等による割引を検討する。
- ・ ヘルメットのレンタルシステムを検討
- ・ 駐輪場等にヘルメット置き場を導入する。
- ・ 大企業等は敷地内で自転車に乗車する際、ヘルメット着用を教養しているが、中小企業は実施していないため、広報啓発教養をしてはどうか。

業務報告

令和4年度第4四半期（令和5年1月から3月まで）の業務推進結果及び令和5年度第1四半期（令和5年4月から6月まで）の業務推進重点について説明した。